

目次

A.研究目的	1
B. 研究方法	1
1. 医療的ケア児等コーディネーター養成研修の現状の把握	1
2. 医療的ケア児等コーディネーターに必要な基礎的知識を可視化・プログラムの開発方法	1
1) 基礎的知識の可視化	1
2) コーディネーターに必要な医療的知識の可視化（岩本班）	2
3) 発達・家族支援に必要な知識の可視化（大塚班）	2
4) 研修プログラムの開発	2
5) 倫理面への配慮	3
C. 研究結果・考察	4
1. 平成 30 年度コーディネーター研修	4
調査結果	4
2. 医療的ケア児等コーディネーターに必要な基礎的知識を可視化結果・考察	6
D. 最終成果物	10
E. 結論	13
F. 健康危険情報	14
G. 研究発表	14
H. 知的財産権の出願・登録状況	14
表 1. 有識者会議参加者所属機関（（研究担当者を除いた 22 名）	15
表 2. 支援者研修総論調査結果	16
表 3. 支援者研修「医療」で講義されていた内容	16
表 4. コーディネーター研修総論	19
表 5. コーディネーター研修総論に追加されていた内容	20
表 6. 研修期間・演習の内容調査結果	22
表 7. コーディネーターに期待される役割	23
表 8. 現行制度上でコーディネーターに適した職種	25
表 9. 医療的ケア児等を支援するため相談支援専門員に必要な要素	31
表 10. コーディネーターが活動するために必要な要素	32
資料 1	36
第二回谷口班 有識者会議議事録	36
資料 2	44
第三回谷口班 有識者会議議事録	44
資料 3 医療的ケア児等コーディネーター研修テキストの内容	48
資料 4. 研修プログラム（案）評価資料	51
資料 5. 3月医療的ケア児等コーディネーター研修演習資料	62